

令和6年4月13日

第78回創校記念日によせて

高岡市立芳野中学校

創校記念日とは何ですか。どんな意味があるのですか。

みなさん一人一人に、それぞれ誕生日があるように、学校にも誕生日があります。

昭和22年4月22日——それが私たちの芳野中学校が生まれた日なのです。

第2次世界大戦後の学制改革によって、新たに中学校の3年間は義務教育となる6・3制が発足しました。これに従い、芳野中学校は新制の中学校として、旧市立高岡高等女学校の校舎と校地を引き継ぎ、ここ「みよし野」に開かれたのです。

創校記念日にあたり、先輩たちが培ってきた歴史と伝統に思いを寄せるとともに、もっとすばらしい芳野中学校を築くために私たちはどうあるべきかを考える機会としたいものです。

芳野という名前の起こりは何ですか。また校章は何を象徴しているのですか。

庄川の左岸に長くのびる芳野中学校の校区は、二塚、下関、野村の3地域からなっています。

「芳野」というのは、射水郡下関村大字大野字芳野という地名から命名したものであり、香り高く、品のある呼び名です。また、繁久寺から国宝瑞龍寺に至る八丁道は桜の名所として知られていました。このことから、地名の由来をほうふつとさせます。

芳野中学校の校章は、その「越の彼岸桜」の花びら3枚を『YOSINO』のYの字に配置し、**知性・徳性・体力**を象徴して、当時の生徒によって作られました。



芳野中学校の校歌はどのように作られたのですか。

芳野中学校の校歌は、市内のどの中学校よりも早く創られ、創校と同時に歌い継がれてきました。また、校歌の作詞・作曲は当時の国語と音楽の先生が中心となり、創られたもので、芳野中学校の生徒に対しての熱い思いが込められています。

平成9年に創校50周年の記念事業が行われました。その事業を記念して、校門に石碑が建てられました。石碑には、「**誇りに生きん今日の日を**」「**誠に生きん今日の日を**」「**希望に生きん今日の日を**」と校歌の一節からとった言葉が彫ってあります。この、**誇り、誠、希望**の言葉を心に刻み、芳野中学生として有意義な中学校生活を過ごしましょう。